

## 医療機関の皆様へのご案内

がんゲノム診療は保険診療上いくつかのルールがあり、希望者全員ができるものではありません。  
ゲノムプロファイリング検査実施についての注意点を列記します。

### 1. 適応評価

1-1 標準治療が終了見込み、または治療抵抗性の悪性固形腫瘍

1-2 標準治療が確立していない稀少がん

### 2. 予後評価

2-1 自然予後 3 か月以上が見込まれ、検査後治療可能と考えられる

\* 検査提出～エキスパートパネル(治療・情報開示検討会議)開催まで 2 か月前後を要するため、  
外来における患者説明まで至らない場合は、検査が完結しません。

### 3. 検索可能な検体

3-1 ホルマリン固定パラフィン包埋切片:がん組織量や固定状況により解析が不可能となるため、予め病理部への確認が必要(作成後 3 年以内、切片厚 4~5  $\mu\text{m}$  × 10 枚、組織表面積 25mm<sup>2</sup> 以上、腫瘍細胞割合 20%以上)

方法: OncoGuide™NCC オンコパネル、FoundationOne®CDx

3-2 血液:組織検体が提出不可能な場合

方法: FoundationOne®LiquidCDx(詳細は検査ホームページなど参照)

### 4. 紹介方法

4-1 当院ホームページ—医療関係者の方へ—FAX 予約システムのご案内—腫瘍内科あてに紹介状添付

4-2 紹介状は貴院の方式で結構ですが、がんゲノム情報管理センター(C-CAT)に登録するために必要情報を問い合わせることがあります。

### 5. 紹介受診後、エキスパートパネル結果を患者さんに説明し、紹介元担当医に返信

5-1 治療方法の候補が見つかる可能性は、約 10%です。

5-2 治療方法の候補が見つかって、保険診療で対応できる遺伝子変異であることや、実際に治療効果があることは、さらに低い確率となります。

5-3 臨床試験(治験)に参加する場合、国立がんセンター中央病院等を受診する必要があることが多いです。  
先進医療や患者申出療養を利用する場合があります。

5-4 ご家族(子供、兄弟)も、がんになりやすい体質(生殖細胞の遺伝子変異)であることを知る可能性があります。  
遺伝性腫瘍の遺伝カウンセリングは、新潟大学病院の遺伝医療センターに紹介することがあります。

5-5 検査費用は検体提出時に 8 万円、検査結果説明時に 48 万円で、各々1~3 割の自己負担があります。  
高額療養費制度の対象となる場合もあります。

### 【問い合わせ先】

新潟市民病院 スワンプラザ内がん診療支援室  
電話(代表):025-281-5151(平日 9 時~17 時)